

主な出来事

【内政】

- H & M 結成大会の開催
- ジャン・ピン候補による教育・医療政策の発表
- 「ディナミック・プリュリエル」によるボンゴ大統領の支持

【外政】

- ボンゴ大統領による第２６回アフリカ世界経済フォーラム出席
- ボンゴ大統領による第２回地域安全保障サミット出席
- 仏首相付対国会関係担当大臣による当地訪問
- ボンゴ大統領による赤道ギニア大統領就任式出席

【経済】

- ガボンの O P E C 再加盟検討
- ムーディーズ格付け：ガボン「B 1」
- フィッチ・レーティング格付け：ガボン「B +」

【内政】

１ 新党「新民主主義」の結成

４月２７日、新党「新民主主義（D N）」が結成され、次期大統領選挙においてジャン・ピン候補を支持する旨表明した。（１日付 U N）

２ H & M 結成大会の開催

１日、「継続と近代性（H & M）」は結成大会を開催し、次期大統領選挙において正式にンズバ・ンダマ元国民議会議長を支持する旨決定した。（２日付 U N）

３ 新党「共和・社会主義連合」の結成

４月３０日、ンギア・バンダ石油製品保管会社（S G E P P）社長（P D G 幹部）は、新党「共和・社会主義連合」の結成を発表し、開発政策を発表した。（２日付 U N）

４ ジャン・ピン候補による教育・医療政策の発表

４日、ジャン・ピン元 A U C 委員長は、次期大統領選挙に向けた政策を発表し、教育・医療政策を優先課題として掲げたほか、国民対話の実施、行政機関の強化、法的機関の独立、地方行政の発達、経済の多角化、官民連携による開発促進等を政策に掲げている。（６日付 U N，５日付 G R）

５ C L R 臨時党大会の開催

７日、自由な改革者のための中道党（C L R）は臨時党大会を開催し、次期大統領選挙においてアリ・ボンゴ大統領を支持する旨決定した。（９日付 U N，７日付 G R）

６ A D E R E フローランタン・ムサブ派臨時党大会の開催

民主共和連合（A D E R E）フローランタン・ムサブ派は、次期大統領選挙に向けてアリ・ボンゴ大統領への支持を表明した。（１１日付ＵＮ）

７ P G C I 及び U P G によるボンゴ大統領支持表明

１８日、ガボン中道独立党（P G C I）幹事長、ガボン国民連合（U P G）幹事長はアリ・ボンゴ大統領と会談し、次期大統領選挙においてアリ・ボンゴ大統領を支持する旨表明した。（１９日付ＵＮ）

８ 「ディナミック・プリュリエル」によるボンゴ大統領の支持

２１日、与党 P D G 始めアリ・ボンゴ大統領支持政党、労働組合、N G O 他は、次期大統領選挙におけるアリ・ボンゴ大統領支持に向け、「ディナミック・プリュリエル」を新たに結成した。（２３日付ＵＮ，２３日付 G R）

９ ンズバ・ンダマ候補による Woleu-Ntem 県訪問

１９日、ンズバ・ンダマ元国民議会議長は、１０日間に亘り Woleu-Ntem 県を訪問し、次期大統領選挙に向けて住民の支持を要請した。（２３日付 G R）

【外政】

１ ボンゴ大統領による第２６回アフリカ世界経済フォーラム出席

１１－１３日、アリ・ボンゴ大統領は、ルワンダにて開催された第２６回アフリカ世界経済フォーラムに出席し、油価下落、一次産品の価格低下を受けて、経済成長を促す代替策について意見交換を行った。（１２日付，１３日付けＵＮ）

２ ボンゴ大統領による第２回地域安全保障サミット出席

１４日、アリ・ボンゴ大統領はナイジェリアにて開催された第２回地域安全保障サミットに出席し、ボコ・ハラム等のテロ対策について意見交換を行った。ナイジェリア、カメルーン、チャド、ニジェール、セネガル、ガボン、トーゴ及びベナン首脳が出席したほか、仏大統領、英外相、米国務副長官他が出席した（１４日付，１６日付，１７日付ＵＮ）

３ 仏首相付対国会関係担当大臣による当地訪問

１６日、ジャン＝マリー・ル・グエン仏首相付対国会関係担当大臣は当地を訪問し、アリ・ボンゴ大統領と会談し、ガボンの開発政策、気候変動政策、中部アフリカにおける安全保障、次期大統領選挙他について意見交換を行った。仏首相付対国会関係担当大臣からは、仏・ガボン関係の更なる強化について述べたほか、国際監視団の派遣を通じて透明性の確保された選挙の実施を要請した。（１７日付ＵＮ）

４ ボンゴ大統領による赤道ギニア大統領就任式出席

２０日、アリ・ボンゴ大統領は赤道ギニアを訪問し、４月２４日の選挙にて再選したンゲマ赤道ギニア大統領就任式に出席した。（２３日付ＵＮ）

【経済】

１ ガボンの O P E C 再加盟検討

ングブ・ガボン石油・炭化水素大臣は、石油輸出国機構（O P E C）への再加盟を検討し

ている旨表明した。ガボンのOPEC再加盟については7月に開催されるウィーンでの会合にて審議される予定。(4月29日付UN)

2 油価下落による労働環境悪化：ONEP発表

石油関係労組組合(ONEP)は、油価下落の影響により、約800名が解雇されたほか、約1,500名の労働者が不安定な雇用状況下であり、300名の労働者が退職勧奨の対象となっている旨発表した。(4月29日付UN)

3 ムーディーズ格付け：ガボン「B1」

ムーディーズは、油価下落による財政状況悪化を理由にガボン経済をBa3からB1に格下げした。(3日付UN, 3日付GR)

4 IMFによるマクロ経済評価

4月25日—5月2日、当地を訪問したIMFミッションは、油価下落、石油収入への依存度を理由に、2016年中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)加盟国の予算・経常赤字は同加盟国GDPの8%にのぼる旨発表した。IMFミッションは、地域の経済持続性を中期的に維持するために、各国政府に対して国債の発行を抑えるよう勧告した。(11日付UN)

5 トタル・ガボンの2016年第1四半期決算

11日、トタル・ガボンは、2016年第1四半期の総決算を公表し、石油販売価格の下落を理由に、前年同時期に比べ28%減の1億6,100万米ドルとなる旨発表した。(14日付UN, 14日付GR)

6 フィッチ・レーティング格付け：ガボン「B+」

フィッチ・レーティングは、油価下落に伴うガボン経済情勢の悪化、国家歳入の減少等を理由に同国経済をB+に格下げした。(11日付UN, 9日付GR)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース)